



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 玉懸 博之

仙台市青葉区大町1-2-2

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

10～12月の催事計画

ユネスコカレッジ講座 平成26（2014）年度 仙台的古代遺跡散策と仙南の亙理・角田・白石の古代ろまんを研修 ～ 奈良・平安時代に学ぶ ～

日本ユネスコ協会連盟は国内の地域遺産・文化財の保存継承を念頭に「未来遺産運動」を展開しております。継続事業として、今年度は一日目を仙台市内富沢駅周辺の古代遺跡をご案内します。二日目の仙南コースでは、奈良・平安時代からの歴史・史跡の探訪で亙理町「国史三十三間堂官衙遺跡、郷土資料館」、角田市「郷土資料館、勝楽山高蔵寺」、白石市「白石和紙工房」等の行程でご案内をします。昼食は季節（9/上～12/上）がら藩政時代からの郷土名物「はらこ飯」を食べて頂きます。尚、今般は特に、仙台ユネスコ協会会員である亙理町のご協力でご案内をいたしました。（※定員に達したため締め切りました。）

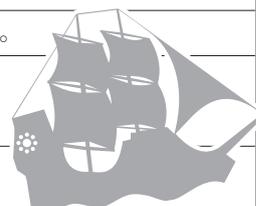
講座日	会場	学習内容	備考
10月22日(水) 13:00～15:30 集合：地下鉄富沢駅前	仙台市富沢駅周辺の古代遺跡の散策	古代遺跡の見学	○仙台市教育委員会 文化財課 職員 及川謙作氏
10月23日(木) 9:00～16:30 バスで巡回 集合：仙台駅東口	○亙理町郷土資料館と国史跡 三十三間堂官衙遺跡 ○昼食（はらこ飯） ○角田市では郷土資料館及び勝楽山高蔵寺 ○白石市 白石和紙工房	○郷土資料館「原始・古代から亙理伊達家にまつわる資料」の見学 ○国史跡三十三間堂官衙遺跡の見学 ○高蔵寺は平安時代 藤原秀衡夫妻が建立した阿彌陀堂の見学 ○白石和紙工房と遠藤まし子氏のお話 現在でも、東大寺修二会（お水取り）で練行衆が着用する紙衣を納めている。	○亙理町企画財政課、 亙理町教育委員会 職員 鈴木朋之氏 ○角田市教育委員会 職員 佐藤秀一氏 ○白石和紙工房 遠藤まし子氏

募集人員／30名【※定員に達したため締め切りました】	対 象／18歳以上
受講料／金 2,000円（保険料、昼食、お茶代等）	修了証書／2回講座に出席された方には修了証書を差し上げます。
主催／公益社団法人 仙台ユネスコ協会	協力機関／仙台市教育委員会 角田市教育委員会 亙理町企画財政課

記念事業 第4部 伊達政宗、私たちの夢、慶長遣欧使節団の歴史的な背景（検証）

慶長遣欧使節団 支倉常長大使らは、今から400年前の1613年（慶長18年）10月28日に、月浦（石巻市）から出帆。常長らは行く先々での盛んな歓迎を受けたが、徳川幕府の国内事情から大きな成果は得られなかった。無事に7年後に帰還。ヨーロッパに日本文化を知らしめ、多くの南蛮文化資料を持ち帰ったことは、大きな貢献である。シンポジウムでは、東北大学の佐藤弘夫教授、仙台大学の伊達宗弘客員教授、支倉常長家十三代当主支倉常隆氏の方から、テーマにある使節団の歴史的な意義と背景を、おもいおもいに語っていただく事にしました。

期 日／平成26年11月21日(金) 13:30～15:30	会 場／仙台市博物館	定 員／先着200名
共 催／仙台ユネスコ協会、仙台市博物館	会 費／無 料 ※当日応募ハガキご持参ください。	
講 師／佐藤弘夫氏 東北大学文学部教授 東北大学文学部長・文学研究科長 伊達宗弘氏 仙台大学客員教授 宮城県図書館元館長 支倉常隆氏 支倉常長家十三代当主		
後 援／日本ユネスコ国内委員会、慶長遣欧使節団出航400年記念事業実行委員会、東北大学文学部、宮城県慶長使節船ミュージアム、仙台商工会議所、仙台日伊協会、仙台藩志会		



●お申し込みは、住所・参加者氏名・電話・ファックスを明記の上、FAX 022-302-3406（担当佐藤鉄二）までお送りください。【締め切り／平成26年10月30日(金)】

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1977年（昭和52年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。



7月19日、公益社団法人仙台ユネスコ協会主催による、2014年「民間ユネスコ運動の日」記念講演・交流会が、約100人の会員・市民の参加を得て、仙台市シルバーセンターにおいて開催されました。



仙台ユネスコ協会 玉懸博之会長 司会の 加藤幸子理事

始めに、司会の仙台ユネスコ協会 加藤幸子理事が「仙台にユネスコ協会が誕生して今日で67回を迎えました。仙台ユネスコ協会は、1947年に世界最初の民間ユネスコ団体として発足いたしました。今回は改めて、私たち自身に『ユネスコとは?』という問い掛けをもう一度してみたいと思いました。今日予定されております見上先生のご講演と交流会を通じて、ユネスコについてご理解いただき、ユネスコを身近に感じていただきたいと思います」と開催の主旨を説明しました。ユネスコ会員綱領唱和のあと、ユネスコの歌「手に手を取って」を合唱しました。

記念講演では、宮城教育大学 見上一幸学長を講師に



迎えて、「持続可能な社会の構築を目指したユネスコ活動の活性化～ユネスコスクールを中心とした地域活動～」をテーマにご講演いただきました。見上氏は、ユネスコとご自身との関わりについて、「民間ユネスコ発祥の地『仙台』にある大学としては、この凄い財産を教育に活用しない手はないと強く感じました」と述べました。

見上氏は、まずユネスコスクールの目的や発展などについて説明し、「ユネスコスクールを一言で言うと、質の高い学校間のネットワークである」と話されました。その他、ESD（持続可能な開発のための教育）についても具体的に説明し、ESD活動を通じて育まれる能力とその教育についても話されました。そして、「ESDは、いろいろな形があり間口が広いのでわかりにくいかもしれませんが、持続可能な社会の担い手づくりと理解して頂くとわか

りやすいと思います。最終的には『持続可能性』をゴールとして目指しています」と話しました。最後にコンソーシアム（consortium: 共同事業体）について、「ユネスコ協会が連携し、地域の学校や企業、教育委員会などと協力しながらコンソーシアムを作り、それを広げましょう。つまり、地域でネットワークを作っていきます」と呼びかけました。

質疑応答のあと、仙台ユネスコ協会 玉懸博之会長が「本日の先生のお話から、自分の課題は何かということをお聞きしたいと思います。そういう意味でも貴重なご講演だったと確信しています。本当にありがとうございました」お礼の言葉を述べました。会食と交流会が開かれたあと、2014年「民間ユネスコ運動の日」が閉会しました。

学生部 レポート

第46回ユネスコ 子どもキャンプ2014

私たち仙台ユネスコ協会学生部は8月5日から8月8日までの3泊4日、岐阜県で行われた「第46回ユネスコ子どもキャンプ2014」に参加してきました。今回のキャンプのテーマは「いっ歩 ～知らない自分み～つけた～」というものでした。このテーマには「子ども達にいつでもいいから一歩を踏み出して欲しい。キャンプを一歩踏み出すきっかけにして欲しい。」といった気持ちが込められています。私たち学生部は参加したメンバーそれぞれがキャンプで与えられた仕事に責任を持って取り組み、キャンプ運営の仕方や組織での活動の仕方、子どもとの関わり方等の様々なことを学ぶとともに、全国の青年の仲間との絆を深めることができました。このキャンプで感じたこと・考えたことを忘れず、来年の夏に企画している仙台でのキャンプに活かしていこうと思います。

また、私たち学生部は「文化の多様性の保護および文明間対話の促進」を目標に掲げるユネスコ活動の一環として、12月21日に「第3回国際交流事業」を企画しています。過去2年間に行われた国際交流事業では、定員を上回るたくさんの留学生や一般の方々に参加いただき、たいへん好評をいただきました。今年も開催することとなりました。日本の誇るべき文化の一つであるお正月を体験することを通して、留学生・日本人学生ともに互いの文化への理解を深めたいと考えています。お時間がありましたらぜひご参加ください。

（三浦晴信 宮城教育大3年）

ユネスコ精神 学んで 仙台見上宮教大学長が講演

「持続可能な社会づくりに向けた活動を学ぶ出席者」

「民間ユネスコ運動の日」の晚上「宮城教育大」の7月18日、ユネスコ精神の講演会が仙台ユネスコ協会（玉懸博之会長）の協賛で開催された。仙台見上宮教大学長は「ユネスコ精神の重要性について、ユネスコは仙台地域のユネスコ運動の活性化に貢献している」と述べた。また、見上氏は「民間ユネスコ運動の重要性を改めて認識し、ユネスコ精神を生活の中に取り入れたい」と話した。

復興支援に感謝 七夕飾りで表現

「仙台ターミナルビル」の4階にある「復興支援」の七夕飾りが、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。仙台ターミナルビルは、震災後の復興支援に貢献している。仙台ユネスコ協会は、仙台ターミナルビルに七夕飾りを飾り、復興支援を表現した。仙台ターミナルビルは、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。仙台ターミナルビルは、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。

新聞掲載 情報

「復興支援に感謝 七夕飾りで表現」の記事が、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。仙台ターミナルビルは、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。仙台ターミナルビルは、仙台ユネスコ協会の協賛で制作された。

◀ 河北新報 平成26年7月31日より

仙台ユネスコ協会へのご支援 ありがとうございます。

- 寄付
 - 仙台ターミナルビル(株)様
 - 東北分譲住宅販売(株)様
 - 仙建工業(株)様
 - (株)伊達の牛たん本舗様
- 寄贈
 - 滝田 知子様 (2階ピアノ教室にグランドピアノ)
 - 田中 研二様 (2階図書室にカーテン)

仙台ユネスコ協会 会員数

団体賛助会員	118
個人賛助会員	157
合計	275

(2014.8.31現在)

会員募集 あなたも参加しませんか!

社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、昭和22年7月19日に誕生しました。今日まで、日本はもとより世界の民間ユネスコ運動の中心的存在として、多くの先達、会員の努力で発展して参りました。現在、社団法人仙台ユネスコ協会では、会員募集を行っています。あなたのご参加をお待ちしています!

団体賛助会員 年会費	20,000円
個人賛助会員 年会費	5,000円



7～9月の活動実績



7/25～ 8/8 セタイベント

～七夕飾りに絆メッセージの想いを込めて～の企画をエスパル仙台店の全面的な協力を頂き、宮城県ユネスコ連絡協議会がひとつになって、被災地の子どもたちや留学生など、その他多くの方々の協力を頂きながら7月25日から8月8日までエスパル仙台店1Fスクエアでセタイベントを開催しました。

○学生部主催のワークショップを8月2～3日に開催し、東日本大震災復興英基金の募金活動をする。日本ユネスコ協会連盟に寄付金10564円を島田学生部代表が送りました。

○8月8日最終日に仙台ターミナルビル棟に対し宮城県ユネスコ連絡協議会から感謝状を贈呈しました。贈呈式はホテルメトロポリタン仙台で行われ、仙台ターミナルビル棟寺本清一専務取締役、田中司取締役・エスパル仙台店店长、仙台ユネスコ協会から玉懸会長、中村専務理事らが出席しました。意見交換会の時間も頂き、充実した贈呈式になりました。



○日本ユネスコ協会連盟 広報・ファンレイジング部宛に島田祐輔学生部代表が、ユネスコ活動の機関紙「ユネスコ」に七夕飾りイベントの原稿を送りました。
(七夕飾り担当 川村洋子)

7/28 支倉常長公の菩提寺光明寺で絵画教室

教室は支倉常長らの慶長遣欧使節関係書類がユネスコの世界記憶遺産に登録された第三部記念事業でした。

夏休みもあって、子どもたちと父兄で50余名の参加者がありました。光明寺大内修道住職の協力もあって、子どもたちは本堂、山門、常長公の墓地と境内一杯に広がり、元気に、思い思いの姿勢で楽しく描いていました。

境内は樹林でおおわれ、当日は朝早くから子どもたちを「やぶ蚊の天国」からガードするために役員と学生部、常盤木学園高校生ボランティアが、殺虫剤を散布、蚊取線香を焚き、防虫パッチを貼ってやぶ蚊対策を施しました。その結果、一人の子どもが勇敢な一匹のやぶ蚊攻撃に会いましたが、心配していた暑さによる熱中症もなく無事に終わりました。

限られた時間でしたが、常長公と光明寺に関わる優秀な力作を仕上げる事ができました。

尚、作品は来年2月17日(火)～22日(日)に東北電力グリーンプラザで展示されます。

(佐藤鉄二)



8/3 せんだい地球フェスタ2014



今年も、8月3日(出)にせんだい地球フェスタが仙台国際センターで開催され、仙台ユネスコ協会（以後SUAと略）は企画を大幅に刷新して参加しました。

このフェスタは、1992年に始まった「仙台国際センターまつり」が前身で、2007年から「せんだい地球フェスタ」と名前を変えて運営されてきました。本年は81の団体が参加し、地球屋台村、バザール、活動紹介などを行いました。

今回、私達は参加目的を「SUA・仙台ユネスコ会館・SUAの活動を広報し、より多くの人にSUAについて知ってもらうこと」と明確化し、その達成のために、新たにSUAの大型ポスターと世界寺子屋運動のチラシを作成しました。またSUAのブースに足を止めてもらうために七夕の笹竹を用意し、折鶴(千羽鶴は平和の象徴)や願いを書いた短冊を参加者に結んでもらいました。

企画は効を奏し、約200人の皆さんがSUAブースを訪れ、SUAが民間ユネスコ運動の発祥であること、活動内容、仙台ユネスコ会館の存在を大いに広報することができました。

(中島美樹子)

7～9月の情報交換会 他

- 7月 11日 役員会
- 24日 宮城県ユネスコ連絡協議会
- 8月 19日 「守ろう地球のたからもの」講習会
- 21日 富山ユネスコ協会
高桑幸一会長との情報交換
- 26～27日 ユネスコスクール連絡会議
- 9月 5日 日本ユネスコ協会との情報交換
- 8日 仙台市長との情報交換
- 11日 役員会
- 21日 映画会 (学生部主催)
- (その他) 1階炊事場 換気扇取付



8/21 富山ユ協 高桑幸一会長をお迎えして



【編集委員】

委員長：松谷 一夫
副委員長：小泉知加子
委員：兼平 敏子／菅原 京子
黄海富寿雄／西條 清和

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ」444号をお届けします。7月から9月の行事もたくさんありました。特に7月19日は民間ユネスコ運動の日。記念講演・交流会を特集しました。今後も仙台ユネスコ協会の活動をより多くの方たちに知っていただけるように編集していきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いいたします。
(副編集長 小泉知加子)



編集会議の様子
2014/10/2